

# 28年12月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成28年12月1日～ 28年12月10日

## 2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
12月分の回答企業数は5社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

### (1) ラミナ荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/12月	29/1月	29/2月
入荷動向	国産材	10.0	△ 10.0	10.0
	外材	25.0	12.5	△ 12.5
在庫動向	国産材	△ 10.0	0.0	0.0
	外材	0.0	0.0	25.0

・国産材ラミナの入荷は12月の増加が、1月は減少、2月は増加。外材は12月、1月の増加が、2月は減少。

・国産材ラミナの在庫は12月の減少が、1月、2月は横ばい。外材は12月、1月の横ばいが、2月は増加。

### (2) ラミナ購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/12月	29/1月	29/2月
国産材	0.0	0.0	0.0
欧州材	25.0	12.5	12.5
その他	0.0	0.0	0.0

・ラミナの購入価格は、国産材及びその他は3ヵ月連続して横ばい。欧州材は強含みで推移。

## 28年12月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

## (3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/12月	29/1月	29/2月
生産動向	国産材	20.0	0.0	0.0
	WW集成管柱	0.0	△ 16.7	△ 16.7
	RW集成平角	0.0	0.0	0.0
	米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
	WW集成平角	—	—	—
出荷動向	国産材	20.0	0.0	0.0
	WW集成管柱	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7
	RW集成平角	0.0	0.0	0.0
	米マツ集成平角	0.0	△ 16.7	△ 16.7
	WW集成平角	—	—	—

・構造用国産材集成材の生産は12月の増加が、1月、2月は横ばい。WW集成材管柱は12月の横ばいが、1月、2月は減少。RW集成平角及び米マツ集成平角は3ヵ月連続して横ばい。

・構造用国産材集成材の出荷は12月の増加が、1月、2月は横ばい。WW集成材管柱は3ヵ月連続して減少。RW集成平角は3ヵ月連続して横ばい。米マツ集成平角は12月の横ばいが、1月、2月は減少。

## (4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	28/12月	29/1月	29/2月
スギ集成管柱	0.0	0.0	0.0
ヒノキ集成柱	0.0	0.0	0.0
ヒノキ集成土台	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成土台	0.0	0.0	0.0
WW集成管柱	16.7	16.7	16.7
RW集成平角	16.7	16.7	16.7
米マツ集成平角	0.0	△ 16.7	△ 16.7
WW集成平角	—	—	—
米ヒバ土台角	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成平角	—	—	—

・構造用集成材の出荷価格は、スギ集成管柱、ヒノキ集成柱、集成土台、カラマツ集成土台及び米ヒバ土台角は3ヵ月連続して横ばい。

・WW集成管柱及びRW集成平角は強含みで推移。米マツ平角は12月の横ばいが、1月、2月は弱含み。